

**<規制改革会議エネルギー・環境ワーキンググループ会議ヒアリング資料>**

**容器包装リサイクル法 材料リサイクルに係る取組について**

平成25年4月8日

**全清連プラスチック適正循環資源化協議会  
株式会社広島リサイクルセンター**

## CONTENTS

はじめに「規制改革会議のみなさまにご理解いただきたいこと」

1: 会社概要・施設概要

2: プラスチック製容器包装リサイクル プロセス・フロー

3: 材料リサイクルの質の向上への取り組み

4: 材料リサイクルにおける雇用と経済効果

おわりに「あらためてお願いしたいこと」

添付資料： 成形製品事例集

## 規制改革会議のみなさまにご理解いただきたいこと

私達(株)広島リサイクルセンターは平成12年に制定された循環型社会形成推進基本法を念頭に平成14年4月にプラスチック製容器包装リサイクル事業に参入致しました。

以来今日まで、同法の理念に則り、材料リサイクルの質の向上に取り組んで参りました。

私達は、平成22年度から導入された材料リサイクル優先枠50%(約34万t)の条件下で、全国53社の材料リサイクル事業者との厳しい競合の中、地域経済や雇用にも貢献しつつ、より高度なリサイクルを進めるとともに、継続的なコストの低減を図ってきました。

私達はリサイクル製品の高度化、高付加価値化に向け日夜努力を重ね、近年では自動車部品や玩具、文具などへのリサイクルにもチャレンジしています。

このような中で、循環資源としての容器包装プラスチックを、原材料として高度なプラスチック製品に再生利用するコストと、そのほとんどが熱利用されるような手法も認められ、かつ最終製品が可視化されていないケミカルリサイクルのコストを比較して、材料リサイクル(再生利用)手法を否定されることは、全くの筋違いではないかと考えます。

私達は、材料リサイクル手法優先の是非を論じるのであれば、循環基本法第7条、ならびに廃掃法第5条の二に照らして、「もったいない」の国民目線で考えていただきたいと存じます。

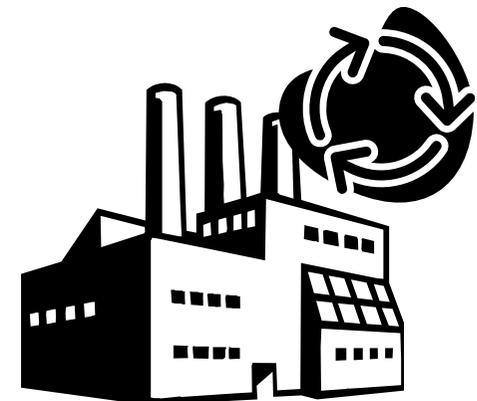
そして、規制改革会議の皆様におかれましては、数社の大企業が数十社の中小企業を食いつぶしてもよいとする改革要望は、安倍総理の目指す規制改革とは似て非なるものであることを十分にご理解いただきますようご要望申し上げます。

以上、私達の要望の核心部分を申し上げましたが、次に時間の許す限りにおきまして、私達に取り組んできたリサイクル事業の概要をご説明させていただきます。

# 1

## (株)広島リサイクルセンター会社概要

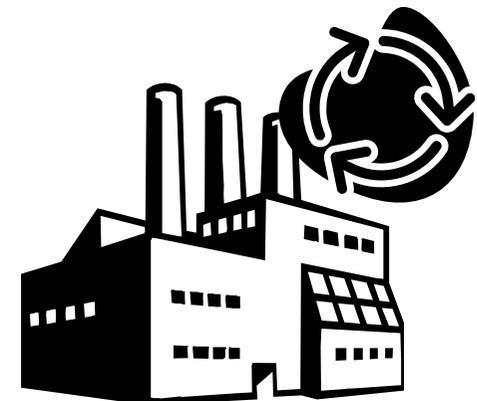
- 商号: 株式会社 広島リサイクルセンター
- 代表者: 三井 崇裕
- 所在地: 本 社・・・広島県広島市中区大手町3-1-3  
久井工場・・・広島県三原市久井町下津1126-9  
東京営業所・・・東京都中央区京橋2-11-5
- 創業: 平成15年10月
- 資本金: 10,000万円
- 事業内容: 容器包装リサイクル法に基づく、ペットボトル・ガラス瓶  
その他プラスチックの再生処理業
- 社員数: 140名(平成25年4月1日現在)
- 取得認証: エコアクション21  
ISO9001(久井工場)



# 1

## (株)広島リサイクルセンター施設概要

- 処理施設の種類:           リサイクル処理(中間処理)
  
- 処理する廃棄物の種類: 廃プラ(その他プラスチック)  
                                  ペットボトル・ガラスびん
  
- 工場敷地面積:           53,364m<sup>2</sup>
  
- 工場等建屋床面積:       17,737m<sup>2</sup>
  
- 処理能力:  
1)その他プラスチック       52,704t/年  
  
2)ペットボトル               2,448t/年  
  
3)ガラスびん                 2,520t/年



## 2

### プロセスフローにおける、材料リサイクルとケミカルリサイクルの違い

材料リサイクルは、廃プラスチックを再度原材料として利用するという性質上、ケミカルや熱回収に比べて、よりきめ細やかな処理が必要。



# 3

## 材料リサイクルの質の向上への取り組み

### 1. 品質向上への取り組み

最終製品も見据えて、再生原材料の高品質化、高付加価値化に向け努力。

- 最終的にモノ(成形製品)を製造する成形メーカーにて、より良い製品を作っていたくために、広島リサイクルセンターでは、定期的な物性測定・分析を行い、データのフィードバックを行っている。  
それにより、“モノづくりの材料”として使っていただくための再生樹脂ペレットとして品質の安定・向上を推進。
- 測定データは、随時お客様である成形メーカーにも提供。  
製品の成形現場で品質の向上、成形工程の効率化に活かされている。

#### 結果

- ペレット品質の向上によって、ペレット販売価格が2011年以降3年間で75%アップ

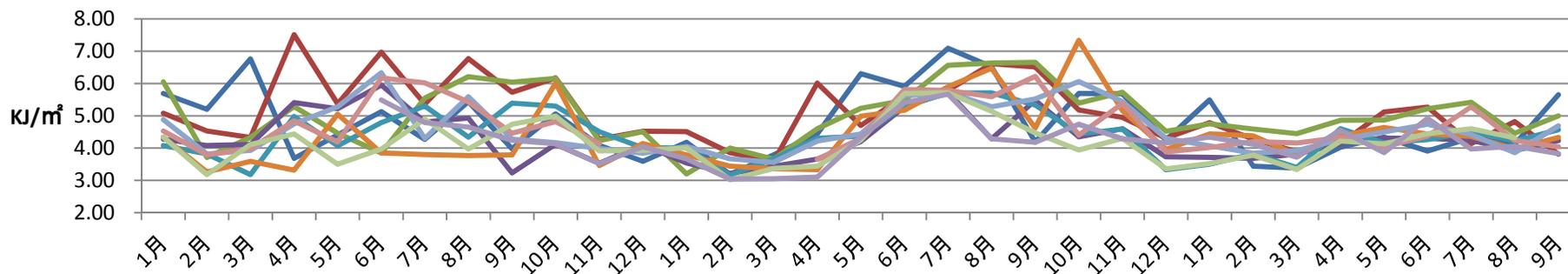


(参考情報)

直近3カ月の容リペレットの物性データからも、製品ごとの物性値が均等化している。これは、ペレットの物性が安定し、さらに高度な製品利用が可能となることを示している。

■株式会社 広島リサイクルセンター  
平成22年1月から24年9月までの容リペレット 物性データ(抜粋)

### アイゾット衝撃値



### 曲げ弾性率

